

平成 24 年 5 月 7 日

協議会委員各位

がんセンター

増田 昌人

平成 24 年度「沖縄県がん医療の質の評価センター」業務内容について

現在の日本では、医療の内容と質に関する評価と公開は十分でない。

がん対策推進基本法の基本理念である第二条にある通り、「がん患者がその居住する地域にかかわらず等しく科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受ける」ためには、アウトカム指標およびプロセス指標によってがん医療の質に対する評価ができる体制を構築していく必要がある。

特にがんの分野では、種々のガイドラインが策定されて、いわゆる「標準治療」がある程度は出揃った状況である。しかし、これらの標準治療がどの程度普及し、実行されているかを示すデータは明らかではない。さらに、標準治療も含めた「がん医療の内容と質」に対する評価は不十分である。このため、医療者や行政、一般に医療の内容と質に関する情報の共有と公開を進め、標準治療の推進とがん医療の均てん化を図るうえで、重要な事業である。

そこで「沖縄県がん医療の質の評価センター」では、がん診療連携拠点病院指定申請書などから得られるストラクチャーデータ、臨床指標、DPC データなどから得られるプロセスデータ、地域がん登録、院内がん登録などから得られるアウトカムデータなどを対象とし、これらの情報の収集と分析および公表を担うベンチマーキングセンターとなるように活動する。将来的には、英国の National Cancer Intelligence Network(NCIN)の沖縄県版を構築する。

1. 以下の項目について、情報の収集

(1) ストラクチャー評価のためのデータ源

- ①がん診療連携拠点病院の現況調査結果（既にホームページで一部公表）（進行中）
- ②「沖縄県保健医療機能調査」（前回のものは県ホームページで一部公表）（進行中）
- ③施設基準

(2) プロセス評価のためのデータ源

- ①診療の質指標（Quality Indicator : QI）
- ②DPC データ（これから）
- ③院内がん登録データ
- ④Collaborating staging(CS)
- ⑤保険者（国保・後期高齢者・協会けんぽなど）

⑥医療機関

⑦特定健診

⑧がん検診

⑨臓器がん登録

⑩診療科データベース

⑪GPI システム

(3) アウトカム評価のためのデータ源

①地域がん登録（これから、一部県では分析中）

②院内がん登録（進行中）

③がん患者（家族・遺族含む）の受療に関する満足度調査（これから）

④Collaborating staging(CS)

⑤保険者（国保・後期高齢者・協会けんぽなど）

⑥医療機関

⑦特定健診

⑧がん検診

⑨臓器がん登録

⑩診療科データベース

⑪GPI システム

2. 得られたデータの分析を行う。

地域がん登録、院内がん登録、臨床指標、DPC データなどの研究班と連携し、その知見を活用していく。

3. 分析結果を順次公開していく。

分析結果の公表に関しては、既に公表しているものは、分析が終了次第公表する予定である。また、DPC データや臨床指標、さらに5年生存率等に関しては、関係諸機関と調整してから、順次公表を目指す予定である。

4. データの提供

必要に応じて、沖縄県、各市町村、団体、医療機関へ必要なデータの提供も行っていく

特に上半期は、「沖縄県がん対策計画」の今年度の策定に利用できるように、現在収集できているデータの分析を行う予定である。さらに、「沖縄県保健医療機能調査」の分析、DPC データと臨床指標データの収集、院内がん登録の分析を行っていく予定である。